

一般社団法人日本医療薬学会  
平成 28 年度第 2 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 28 年 3 月 26 日（土） 14 時 ～ 15 時 20 分

二．開催場所：TKP 横浜東口ビジネスセンター 26C 会議室

三．出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：奥田 真弘、松原 和夫

理 事：青山 隆夫、井関 健、桂 敏也、川上 純一、河原 昌美、吉光寺 敏泰、  
草井 章、千堂 年昭、谷川原 祐介、濱 敏弘、山田 清文、山本 信夫

監 事：乾 賢一、大石 了三、山田 安彦

陪席者

第 25 回年会長：安原 真人 事務局：星 隆弘

欠席者

副会長：望月 真弓

理 事：大森 栄、北田 光一、宮崎 長一郎、山本 康次郎

四．議長：佐々木 均

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 15 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 28 年度第 1 回定例理事会議事録の確認

議長より、今月 2 日に開催された平成 28 年度第 1 回定例理事会議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 第 8 回定時社員総会資料等の確認

議長より、第 8 回定時社員総会資料を基づき、本理事会の後に開催される第 8 回定時社員総会の議事、進行、議事録署名人等に係る説明及び確認が行われた。

(2) 平成 28 年度薬物療法指導薬剤師、同専門薬剤師研修施設の認定

河原理事より、薬物療法指導薬剤師認定制度委員会（3 月 4 日開催）で審議した薬物療法指導薬剤師及び同専門薬剤師研修施設の認定審査結果他に係る説明があった。

① 薬物療法指導薬剤師の認定審査

今年度の薬物療法指導薬剤師には 10 名より申請があり、本委員会で審議した結果、4 名が薬物療法指導薬剤師の認定資格を満たしており 6 名を不合格と判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 4 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

#### ② 薬物療法専門薬剤師研修施設の認定審査

今年度の薬物療法専門薬剤師研修施設には 15 施設より申請があり、本委員会で審議した結果、全 15 施設が認定要件を満たしていると判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 4 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

#### ③ その他

従来薬物療法専門薬剤師の申請スケジュールならびに申請資料の取扱いについて、今後は本学会認定薬剤師の認定資格を取得(論文及び学会発表の審査を経て認定試験にパス)した後に薬学的介入に係る症例や研修歴等の資料を提出する手順に変更するなど、申請の流れが分かりやすく且つ申請資料の作成時間を十分に確保できるように改めることとし、今年度より対応可能な部分から順次変更する方針が説明された。

#### (3) 平成 28 年度がん専門薬剤師研修施設の認定審査、小委員会運営細則の制定

濱理事より、がん専門薬剤師研修施設の認定審査、がん専門薬剤師研修及び試験の各小委員会運営細則の制定に係る説明があった。

##### ① 平成 28 年度がん専門薬剤師研修施設の認定審査

平成 28 年度のがん専門薬剤師研修施設には 12 施設から申請があり、がん専門薬剤師認定制度委員会で審議した結果、全 12 施設が認定要件を満たしていると判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 4 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

##### ② がん専門薬剤師研修小委員会運営細則、同試験小委員会運営細則の制定

がん専門薬剤師認定制度委員会の下部に位置する研修小委員会及び試験小委員会の役割を規定した各運営細則(案)が示され、協議した結果、総務委員会において内容を精査した上で、了承を判断することとなった。

##### ③ 平成 27 年度がん専門薬剤師の更新認定申請に係る再審査結果報告

平成 27 年度第 6 回定例理事会において、がん専門薬剤師の更新申請に係る審査の結果、再審査の実施と同審査に合格することを条件に更新を認めることとした 14 名より、がん患者に対する薬学的介入症例サマリ(50 症例)の再提出を受け、がん専門薬剤師認定制度委員会で審議した結果、全 14 名の更新が認められると判定したことが報告された。

#### (4) 年会長選任細則の制定

千堂理事より、年会あり方検討委員会で協議された事項を基にした本学会年会の年会長を選任するための年会長選任細則(案)について、年会長候補者推薦委員会を編成して本学会代議員の中から年会長候補者を選出し、理事会に諮った上で会頭が打診

するという規定を整備したことが説明された。協議した結果、一部の文言を修正した上で、本細則の制定が了承された。

#### (5) 2016年度 専門薬剤師海外研修派遣事業による研修員の選考

千堂理事より、今年度の専門薬剤師海外研修派遣事業の派遣研修員について、今年度は3名より応募があり、海外研修派遣員選考委員会で協議した結果2名を選考したことが説明された。協議した結果、研修員候補者の英語力不足を指摘する意見もあったが、当該2名を研修員として派遣することとなった。

#### (6) 平成28年度 医療薬学公開シンポジウムの開催計画

青山理事より、企画シンポジウム委員会で協議した平成28年度の医療薬学公開シンポジウムの開催計画として、昨年と同様に、大学の教員と学生が主体となるシンポジウムを1回開催すること、例年どおり近年の開催実績がないか或いは会員数が少ない地域で3回開催することとした。前者は愛知県、後者を茨城県、新潟県及び徳島県の3地域及び各回の実行委員長を選任した。また、本シンポジウムのテーマとして、従来のもにポリファーマシー及び医療経済の2つのテーマを新たに加えたことが説明された。協議した結果、本開催計画は了承された。

なお、近年の開催地域に鑑み、従前の開催地の選考方針となっていた本学会会員の会員増加対策（本学会年会を開催しない地域や会員数が少ない地域での開催）から外れている傾向が見られるため、今後、当該シンポジウムの開催目的を確認・再検討すべきではないかという意見もあった。

#### (7) 保険薬局薬剤師の認定資格に係る検討

千堂理事より、第2回保険薬局認定薬剤師制度検討WGの議事メモを基に、保険薬局勤務者が主体となる認定資格の位置づけや、研修施設及び指導薬剤師の暫定認定の必要性を検討したこと、また、本学会での運営体制の構築にあっては、本学会が主体となって指導薬剤師候補者の人選を進め研修カリキュラム等を整備する方針などの議事内容が報告された。協議した結果、当該制度による認定資格の位置づけに不明瞭な点があるため、同検討WGに再協議を求めることとした。

#### (8) 大学教員の認定制度に係る検討

青山理事より、第2回保険薬局認定薬剤師制度検討WGの議事メモを基に、大学教員が主体となる認定制度の目的、専門薬剤師及び指導薬剤師の2段階構成と認定要件(案)、研修施設での研修などを協議したこと並びに今後も継続して協議をすることが説明された。

#### (9) その他

① 奥田副会長より、日本化学療法学会の抗微生物薬適正使用推進委員会が中心となり、本学会を含めた8学会で取りまとめた「抗菌薬適正使用支援（Antimicrobial Stewardship；AS）プログラム推進のために」の最終案の紹介と、近日中に厚生労働

大臣及び文部科学大臣に本提言を申し入れる計画であることが説明された。

② 松原副会頭より、第 26 回本学会年会の運営資金の調達に係る寄付依頼の活動報告として、これまで継続的に支援を受けてきた団体より、本学会の収益が良好であるため、今後はこれまでと同額の寄付が困難になる可能性が示唆されたという趣旨の説明があった。協議した結果、寄付収益の縮小化が見込まれる中、本学会の活動を充実化させ、収益性が高い企画を実施することなどで本学会全体の収益を確保すべきという意見が寄せられた。

### 3. 報告事項

#### (1) プロトコールに基づく薬物治療管理 (PBPM) 導入マニュアル

議長より、前回理事会において、リーガルチェックを受けた上で公表することが望ましいとされた平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究」の「プロトコールに基づく薬物治療管理 (PBPM) 導入マニュアル」の総論について弁護士のチェックを受けた結果、法律に抵触するような記述がない旨の回答が得られたため、準備ができ次第、本学会のHP上で通じて公表することが報告された。

#### (2) 薬剤師生涯学習達成度確認試験への問題提供に係る対応

議長より、日本薬剤師研修センターで開催された薬剤師生涯学習達成度確認試験運営協議会・実務委員会の議事報告として、本学会の認定試験と同一の日時・時間に全国 7 つの地域で実施する計画と運営体制及び受験申込の受付等を協議したことが報告された。

#### (3) 学会事務局職員の人事・労務管理に関する報告

千堂理事より、平成 27 年 1 月から 12 月まで期間の本学会事務局職員の人事・労務等に係る調査報告があった。各職員の職務内容、給与支給、サービスや休暇の取得状況に係る記録等を調査した結果、適正に遂行されていたことが報告された。今後、勤務評定の導入（評定基準の策定）や人員体制の整備が課題であることが説明された。

#### (4) 委員会報告 (2 件)

##### 1) 第 1 回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会

河原理事より、第 1 回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会(平成 28 年 3 月 4 日開催)では、前述の薬物療法指導薬剤師及び研修施設の認定審査を実施したこと及び従来の申請スケジュールの見直しや Q & A の追加整備を協議したことが報告された。

##### 2) 第 1 回企画・シンポジウム委員会

青山理事より、第 1 回企画・シンポジウム委員会 (平成 28 年 3 月 3 日開催) の議事については、本理事会の協議(4)で説明した開催地及び実行委員長の選任とテーマを決定したことが報告された。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 15 時 20 分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会 頭 ..... 印

監 事 ..... 印

監 事 ..... 印

監 事 ..... 印